

ガストーブ・ガス温風暖房機の気をつけるポイント

(平成 28 年 11 月 25 日作成)

○ガス臭がしたり、ガス漏れの音が聞こえたりした場合は使用を中止して、ガス供給元（カセットボンベやガス栓）とガス暖房機が正しく接続されているか確認する。

カセットボンベ式ガストーブにボンベを装着した際に、ガス臭がした場合やガス漏れの音（シューという音）が聞こえた場合は使用を中止して、ボンベの切り込み部がストーブのボンベ受けガイドにきちんとはまっているか確認し、しばらく時間をおいてから使用してください。

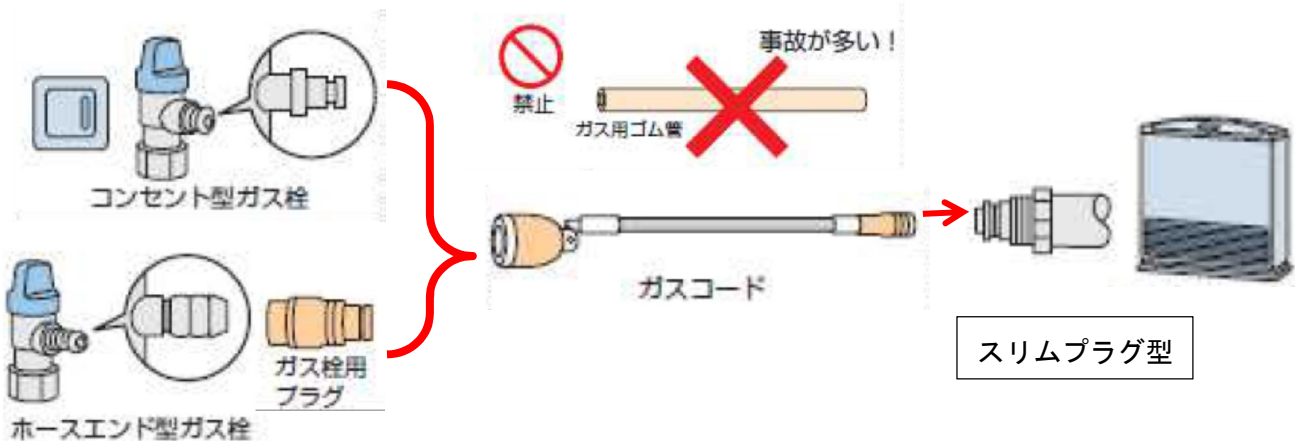


(写真) カセットボンベ式ガストーブとボンベの隙間からガスが漏れている様子 (イメージ)

また、ガス栓やガス暖房機とガス接続具の隙間からガスが漏れて引火した火災も発生しています。ガス暖房機を使用するときは、適切なガス接続具で正しく接続されていることを確認してからガス栓を開いてください。

(参考) ガス栓とガス暖房機の接続について※

- ガス接続具は、「ガス用ゴム管」ではなく、必ず「ガスコード」を使用してください。ガス用ゴム管は「ホースエンド型」の接続口にしか接続できず、ガス暖房機の接続口は「スリムプラグ型」になっており、ガス用ゴム管は接続できません。誤ってガス用ゴム管を使用して、接続部からガスが漏れ事故に至っていますので、注意が必要です。



- ガス栓の周囲に障害物があるときは、接続部やガスコードに無理な力がかからないよう、右図のようなソケット部が自在型のガスコードを使用してください。ガスコードに無理な力がかかると、破損してガス漏れの原因になります。



(図) 自在型ソケット

- ガスコードは適切な長さのものを使用してください。長すぎると機器の高温部に接触したり、配線時に無理な力がかかったりして破損し、ガス漏れの原因になります。

(※) 一般社団法人日本ガス石油機器工業会ホームページより抜粋